

御殿場市工業用水道事業経営戦略（概要版）

1. 位置付けと計画期間

経営戦略とは、総務省自治財政局により発出された「公営企業の経営に当たっての留意事項について」（平成26年8月）のなかでその策定が推進されている、中長期的な経営の基本計画です。

昨今の公営企業は、更新投資の増大と、人口減少に伴う料金収入の減少等により、経営環境が厳しさを増しつつあることから、自らの経営等についての確かな現状把握を行った上で、中長期的な視野に基づく計画的な経営に取り組み、徹底した効率化、経営健全化を図る必要があるとされています。

このため、本市工業用水道事業におきましても、今後の投資計画と財政計画の再検討を行い、強靱で持続的な事業運営を目指すものとします。

なお、計画期間は、令和2年度から令和11年度までの10年間とします。

2. 御殿場市工業用水道事業の現況

本市工業用水道事業の業務状況は、平成30年度実績で給水先事業所数が12事業所、一日平均給水量は2,978 m^3 、有収率は99.6%となっています。平成16年度以降の15年間では、契約事業所数は一定値を示し、給水量はピーク時の約2.0%の減少となっています。

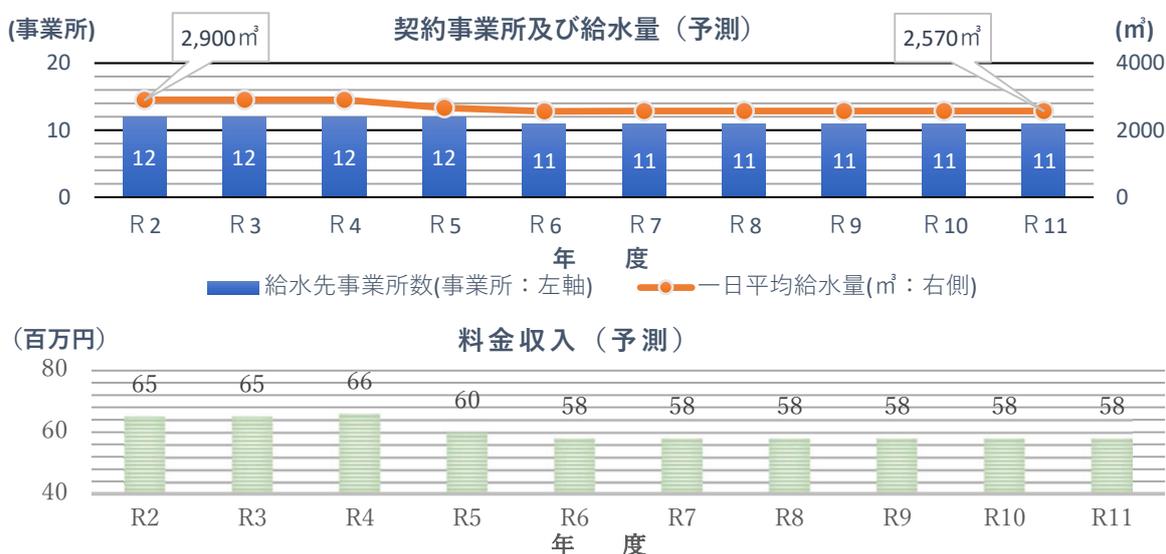


一方、本事業の主要な施設は、深井戸3施設、配水池1施設により構成されており、当該施設の耐震化は完了済みですが、今後は場内配管の耐震性の確保が必要となります。また、管路施設は、全延長が約5.9kmにおよび、管路全体の耐震化率は約30.6%、経年化率は0.0%となっています。

類似団体との経営比較分析では、資金及び債務の負担等において経営の健全性が保たれており、施設においても効率性が保たれています。

3. 将来事業環境の予測

現在契約事業所のうち、製薬会社の撤退が令和5年度内に予定されています。このため、今後の水需要は、同年度以降に当該影響を受ける見通しです。また、これに伴い目標年度における給水収益は、平成30年度実績（67百万円）に比べ約9百万円減少となる見通しです。



4. 経営戦略の基本方針

「経営戦略ガイドライン」で求められている課題として、以下の事項を検討し、コストダウン対策に努めます。

4.1 投資の効率化

① 施設の縮小及び統廃合（ダウンサイジング）

老朽施設の更新及び耐震化にあわせて、水需要に応じた施設能力の再検討を行い、施設の規模縮小を含め、適正化に努めます。

② 施設性能の合理化（スペックダウン）

配水管の更新及び耐震化の際は、対象となる管路の重要度等を考慮し、より経済的な管種・工法の選定を行います。

③ 新技術の導入

管路の更新時には、耐震性があり長寿命化が期待できる資材を導入します。

④ 動力費の抑制

水需要にあわせて、取水ポンプ等のダウンサイジングにより、動力費の抑制に努めます。

⑤ 施設・設備の長寿命化（ライフサイクルコストの低減）

法定耐用年数に代わる新たな更新基準を設定し、施設の長寿命化によるライフサイクルコストの低減に努めます。

4.2 経営の健全化

① 民間個別委託への取組み

必要とされる委託内容を精査したうえで、上水道事業の施設も含め必要に応じて第三者委託の検討を行い更なる経営の効率化に努めます。

② 職員の人材育成

日本工業用水協会や県が主催・幹旋する工業用水道事業全般の講習会及び研修会には、積極的に参加します。

③ 企業債への依存度の抑制

長期財政収支計画により、適正な財源計画の推進を図り、企業債への依存度の抑制を継続します。

④ 適正な自己資金の確保

自己資金は、減価償却費や料金収入による利益等がその主な原資となりますが、今後の事業計画を考慮した中で適正な利益の確保のために、状況に応じて適正料金への見直しが必要となります。

5. 投資計画

(1)投資計画 施設の耐震化、長寿命化等を具現化した総事業費は、今後10年間で約4億円となります。

単位：千円

事業名	備考	金額	年次別事業費									
			R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029
建設改良 事業	管路耐震化工事	201,887	23,562	0	29,467	28,280	23,865	24,803	28,560	43,350	0	0
	配水場内耐震化工事	場内配管耐震化 29,780	0	29,780	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	231,667	23,562	29,780	29,467	28,280	23,865	24,803	28,560	43,350	0	0
更新事業	水道施設更新工事	定期更新 105,412	0	21,003	28,531	17,336	7,867	6,514	2,937	0	15,000	6,224
	小計	105,412	0	21,003	28,531	17,336	7,867	6,514	2,937	0	15,000	6,224
固定資産購入費		2,836	825	0	0	0	0	825	0	0	1,186	0
委託費		26,322	3,483	5,500	2,828	3,052	2,480	2,856	4,335	1,166	622	0
事業費計		366,237	27,870	56,283	60,826	48,668	34,212	34,998	35,832	44,516	16,808	6,224
消費税相当額		36,624	2,787	5,628	6,083	4,867	3,421	3,500	3,583	4,452	1,681	622
総計		402,861	30,657	61,911	66,909	53,535	37,633	38,498	39,415	48,968	18,489	6,846

6. 財政収支計画

(1) 収益的収支・資本的収支 現行料金体系で健全経営が見込めます。

単位：千円

項目		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
			2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
収益的 収入	営業 収益	給水収益（料金収入）	65,489	65,489	65,550	60,294	57,882	58,006	58,006	58,191	58,006	58,006
		その他営業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	営業外 収益	受取利息	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110
		長期前受金戻入	429	429	429	429	429	429	429	429	95	0
		雑収益	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
	計 ①		66,053	66,053	66,114	60,858	58,446	58,570	58,570	58,755	58,236	58,141
収益的 支出	営業 費用	人件費	8895	8958	9021	9084	9148	9148	9148	9148	9148	9148
		維持管理費	20,790	21,003	21,147	20,493	22,498	20,263	20,263	20,282	20,263	22,498
		減価償却費	13,409	14,110	16,373	18,519	20,265	20,554	21,586	22,284	21,865	22,369
		その他費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	営業外 費用	支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計 ②		43,094	44,071	46,541	48,096	51,911	49,965	50,997	51,714	51,276	54,015	
損益	①-②	22,959	21,982	19,573	12,762	6,535	8,605	7,573	7,041	6,960	4,126	
資本的 収入	企業債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	他会計負担金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	繰入金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	工事負担金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計 ③		0	0	0	0	0	0	0	0	0		
資本的 支出	建設改良費		30,657	61,911	66,909	53,535	37,633	38,498	39,415	48,968	18,489	6,846
	企業債償還金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計 ④		30,657	61,911	66,909	53,535	37,633	38,498	39,415	48,968	18,489	6,846	
不足額	③-④	▲ 30,657	▲ 61,911	▲ 66,909	▲ 53,535	▲ 37,633	▲ 38,498	▲ 39,415	▲ 48,968	▲ 18,489	▲ 6,846	
資金残高		398,981	379,338	356,437	345,432	343,819	335,481	329,411	314,322	326,325	349,430	
企業債残高		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※資本的収支の不足額は、消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金、各積立金にて補填されます。

※収益的収支は税抜額、資本的収支は税込額となります。

(2)各種指標

各指標値及び目標値は以下のとおりです。

①経営の健全化

指 標	年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	
経 常 収 支 比 率	153.28%	149.88%	142.06%	126.53%	112.59%	117.22%	114.85%	113.62%	113.57%	107.64%	
料 金 回 収 率	153.49%	150.06%	142.16%	126.49%	112.44%	117.10%	114.71%	113.47%	113.34%	107.38%	
累 積 欠 損 金 比 率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	
企業債残高対給水収益比率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	
供 給 単 価 (円 / m ³)	61.84	61.84	61.84	61.84	61.84	61.84	61.84	61.84	61.84	61.84	
給 水 原 価 (円 / m ³)	40.29	41.21	43.50	48.89	55.00	52.81	53.91	54.50	54.56	57.59	

- ②目標値：経常収支比率 100%以上 (113.67%)
 料金回収率 100%以上 (95.98%)
 累積欠損金比率 0% (118.97%)
 企業債残高対給水収益比率 300%以下 (514.63%)
 ※ () 内は、類似団体 H29 年度平均値

③施設の耐震性 (目標値)

項 目	年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	
管 路 耐 震 化 率	53.4%	54.3%	56.7%	58.9%	74.7%	76.0%	88.4%	100.0%	100.0%	100.0%	

7. 経営戦略の事後検証、更新等について

本市工業用水道事業の健全運営を持続するために、3～5年ごとに計画の見直しを行っていきます。